

音のプレゼント

校長 鈴木隆志

風の音を聴きたくることがあります。ビュービューという強風の音ではなく、ささやく風の音を聴きたいと思うのです。風の色も感じたいと思います。吹く風が、どんな音として、どんな色として心に届くのか、しっかりと受けとめたいと思っています。

練馬区では、今後の区政運営の方向性を、『みどりの風吹くまちビジョン』として示しています。計画の中では、「子どもの成長と子育ての総合的な支援」が第一に挙げられ、学校には「子どもたち一人ひとりに質の高い教育を」進めていくことが求められています。「みどりの風」が、子供たちにどんな音となって、どんな色となって届くのか、「質の高さ」をキーワードに検証していかなければなりません。日常の授業の検証はもちろんですが、大きな学校行事の検証も大切です。

今月22日(水)、23日(木)に、スマイルコンサート(音楽会)が行われます。光っ子たちの音楽会を“スマイルコンサート”と名付けているのは、光っ子たちの笑顔で紡ぐ音楽会だからです。「音の心」(旋律の中にも一つの音符の中にも、意味があり心があること)を感じての演奏が響き、「心の音」(一人一人が自分の思い・役割・責任を、音に乗せて歌い奏でること)が重なり合って、質の高い音楽の風を吹かせていくことができるようにと、願っています。

今年のスマイルコンサートのスローガンは、「心を合わせ、笑顔で奏でよう」です。スローガンにあるように、「心」が大切です。「音の心」と「心の音」が一つになって、光っ子たち一人一人が、笑顔で音楽を心から楽しんでくれるようになってほしいと思います。

「音」には私たちの心に届く様々な効果があります。それを十徳にまとめたものを見つけました。

- ① 見えない力で守られます。
- ② 穏やかな気持ちになって落ち着けます。
- ③ ありがたい！感謝の気持ちが生まれます。
- ④ とても優しい自分になれます。
- ⑤ あたたかく癒やされて幸せを感じます。
- ⑥ 思いやりの心が響き合います。
- ⑦ 心美人になって、いのち煌めきます。
- ⑧ 笑顔の花が咲きほころびます。
- ⑨ 心身が清浄になり、喜びで満ちあふれます。
- ⑩ ただ聴くだけで輝く未来へと誘います。

音や音楽は、ストレスを和らげて、心を癒やす効果があるだけでなく、夢を実現させる助けとなったり、思考力を高めたり、私たちの行動を支配したりする力ももっているのです。近年の脳科学の研究成果によると、音や音楽によって生まれる感情は、脳の^{ねいろ}大脳辺縁系で起こるのだそうです。ドーパミンやβエルドルフィン等の脳内物質が分泌され、脳全体が刺激されていくのだということです。音や音楽は、感情に直接訴えかけているのです。

音の色は音色ねいろというくらいですから、やはり見るというより聴くものでしょう。科学的には、音の波形の違いが音色となって届くのですが、私たちは波形を分析的に聴いているわけではありません。心に届く音色も、感情と直接に結び付いているのです。音色も聴き分けていきたいものです。

「風の音を聴いて悟る」という言葉を遺したのは、松下幸之助氏です。この言葉には、周りの声に耳を傾けなさい、そしてささやく風のような声の音も聴こえるように、常に問題意識をもちなさいという深い意味が込められています。私は、光っ子たちの風の音をきちんと聴いているのだろうか、自省する毎日です。光っ子たちからの音のプレゼントを、しっかりと受けとめていきます。